



フランスの大変動

● 2012年12月19日(水)



現代性に 直面する 村落共同体 社会

Les bouleversements
de la société française,
une collectivité villageoise
face à la modernité

18:30 ~ 20:30 日仏会館 1階ホール

【講師】 ジャン=ピエール・ルゴフ

フランス国立科学研究センター、
シンクタンク Politique autrement 代表

【司会】 クリストフ・マルケ (日仏会館フランス事務所 所長)
【ディスカッサント】 渡名喜庸哲 (東洋大学)

フランスの代表的な社会学者ルゴフ氏が南仏プロヴァンスの村での長年の調査を元に、現代フランス社会の変貌を考察する。2012年9月パリで出版された力作『村の終焉』を紹介。



1949年生まれ。
哲学を修め、現在はフランス国立科学研究センター所属の社会学者。現代化とマネージメント、五月革命と新しい社会運動、民主主義社会における思想と慣習の変化など、フランス社会の変動をテーマに多くの論文や著書を発表している。
邦訳に「ポスト全体主義時代の民主主義」(青灯社、2011年)がある。

【主催】 日仏会館フランス事務所、公益財団法人日仏会館、
在日フランス大使館文化部
【言語】 フランス語、同時通訳付き

【参加申し込み】 contact@mfj.gr.jp

MAISON FRANCO-JAPONAISE

日仏会館フランス事務所 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 ● お問い合わせ 9:30~18:00(月~金)
● Tel 03-5421-7641 ● Fax 03-5421-7651 ● HP <http://www.mfj.gr.jp> ● アクセス http://www.mfj.gr.jp/acces/index_ja.php

日仏会館